

東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0023
武蔵野市境南町2-10-24
第二ときわビル2F
Tel & Fax 0422-30-9590



49

2014. 5.10



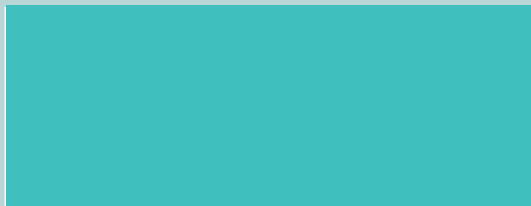
「思案」 館内 純子(旧姓 飯田) 昭和35年卒12回生G組

今年のホームカミングディは26回生&46回生

今年の同窓会総会・懇親会

日時：6月1日(日)
受付開始12時30分 総会13時30分より
場所：武蔵野スイングホール（武蔵境駅北口より徒歩2分）
アトラクション：福間洸太郎さんピアノコンサート
懇親会：15時から レインボーサロン
会費：一般会員 2,000円
学生会員 1,000円
新卒会員 無料
出欠：ご出席の方は、同封のハガキでお知らせください。

平成25年度卒業生同窓会新幹事



渦の中心に居なさいという恩師の言葉を生涯の指針にします と卒業生の答辞

東京都立武蔵高等学校同窓会会長 土屋 正忠



母校武蔵高校は今年初めて中・高一貫教育の卒業生を送り出すことになりました。3月8日(土)の卒業式で生徒代表が次のように答辞を述べた。

高校1年生になった時、先生から3年間の高校生活で常に渦の中心に居なさいと言われたが意味が良くわからなかった。しかし2年生になって後輩達を指導するようになって、学校生活が先生、生徒、保護者など実に多くの人々に支えられているのがわかった。これからも大学生や社会人になっても「渦の中心に居なさい」という恩師の言葉を人生の指針として持ち続けますと感謝の言葉を述べた。素晴らしい卒業式でした。

ところで中・高一貫教育が同窓会に与える影響も少なくありません。1学年8クラス320人から5クラス200人へと120人減少したことで、同窓会会計は毎年120万円の減少になります。今後の影響を最小に抑えるため今年の総会から1年間かけて活動点検委員会(仮称)を設置いたします。同窓会活動についてのご意見をお

寄せ下さい。

さて、今年の総会のアトラクションはピアニストとして世界的な活躍を続ける同窓生・福間洸太郎さんをお願いし快諾をいただきました。どうぞお楽しみに！

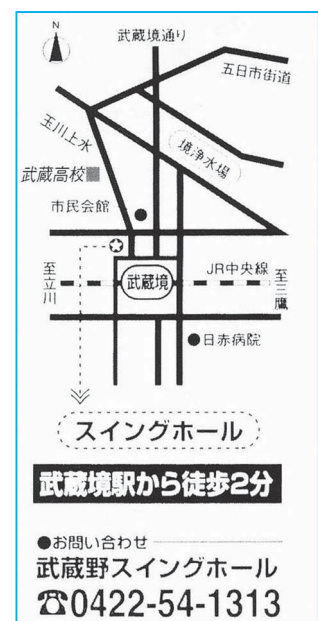
お問い合わせの上、総会にお出かけ下さいますよう役員一同お待ちしております。

今年もみんなで同窓会に行こう！！ 懐かしい笑顔がはじけます 6月1日 武蔵野スイングホール

今年の同窓会総会・懇親会は武蔵野スイングホールで開催されます。総会では、今年の事業計画・予算など重要な議題が審議されます。また、アトラクションでは、すでに世界的にトップレベルのピアニストとして認められている福間洸太郎さんのピアノ演奏をお楽しみいただけます。

26回生・46回生のホームカミングデイも開催されます。これまで、ホームカミングデイをきっかけに各期に同期会が発足しているそうですが、今回も各クラス代表の幹事さんたちが集まって、皆さんへのご連絡に奔走して下さっています。クラスのお仲間、同期の皆さんとご連絡を取り合って、ぜひご参加ください。

都立武蔵高校同窓会事務所
Tel & Fax 0422-30-9590
e-mail : [REDACTED]





今年のアトラクション

世界に羽ばたくピアニスト 福間 洸太郎さん(53回生D組)のコンサート

～ご挨拶～

素敵な時間を共有しましょう

福間 洸太郎

東京都立武蔵高校卒業後に渡欧。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学及び同大学院、イタリア・コモ湖国際ピアノアカデミーに学ぶ。

2003年クリエヴァンド国際コンクール優勝(日本人初)及びショパン賞受賞。これまでにリンカーンセンター、カーネギーホール、ロンドン・ウィグモアホール、ベルリン・コンツェルトハウス、ジュネーヴ・ヴィクトリアホールなどでリサイタル他、各地の音楽祭に出演。クリエヴァンド管、イスラエル・フィル、モスクワ・フィル、フィンランド放送響、新日本フィル、日本センチュリー響、広響、群響等のオーケストラと共演。アッシャー・フィッシュ、ラファエル・ブリューベック・デ・ブルゴス、ハンヌ・リントウ、フランソワ・ザビエル・ロット、ユーリ・シモノフ、小泉和裕、秋山和慶、渡邊一正、山田和樹等の指揮者と共演。

CDは、「シューマン」「武満徹」(以上、Naxos)、「トッパン・ライブ」「リスト～怒りをこめて」(Accustika)、「アルベニス:イベリア全曲他」(Harmony)、「ドビュッシー」(Denon)をリリース。(これらは、レコード芸術、音楽現代、英国グラモフォン、米アメリカンレコード、仏モンド・ドゥ・ラ・ミュージック、仏ディアパゾンなどの各紙で絶賛される。)2013年日本コロムビアより新譜CD「バラードの音魂～ショパン作品集」(レコード芸術誌・特選盤)をリリース。

テレビ朝日系「徹子の部屋」、NHK FM等に出演。第39回日本ショパン協会賞受賞。現在ベルリン在住。www.kotarofukuma.com

この度は同窓会総会で演奏させていただくことになり、大変光栄に存じます。

私は、都立武蔵高校が全面改装される直前の卒業生です。新校舎建築のため不便もありましたが、のびのびと生活し、良い思い出が沢山できました。1年生の音楽祭で、自分の編曲した安室奈美恵の"Can you celebrate?"などを演奏し、3年の文化祭では、友人達の発案・企画・運営でリサイタルを開催しました。それらがきっかけで沢山の方から応援していただくようになり、留学を志していた私の背中を押してくれました。

卒業後、パリとベルリンに留学し、今もベルリンを拠点に五大大陸で演奏活動をしています。東洋人が西洋音楽発祥のヨーロッパで演奏して生き残るのは大変なことですが、常に向上心と好奇心を持ち、一期一会を大切に自分なりに励んでいます。

今回のプログラムは、私の名前にある「洸」のイメージから、水の光をテーマに、また現在の私と同じ31歳で亡くなったシューベルトにオマージュを捧げる意味で、彼の作品も幾つか入れました。

通学で利用していた武蔵境駅前にあるスイングホールで、皆様と素敵な時間を共有できますことを、楽しみにしております。

～プログラム～

フレデリック・ショパン: 舟歌Op.60

フランツ・シューベルト: (リストによる歌曲編曲より) 愛の便り、鱒

フランツ・シューベルト: 即興曲D.935第3番『ロザムンデ』

アドルフ・シュルツ・エヴァー: ヨハン・シュトラウスの「美しき青きドナウ」に基づく演奏会用アラバスク

同窓会の現状とこれから～「財政問題等検討委員会」を立ち上げ検討開始～

同窓会では、母校が中高一貫校になったことにより、高校のクラス数が各学年5クラスとなり、2012年度から高校卒業・同窓会入会者数がほぼ半減しました。このため、当面は入会金、長期的には年会費収入も減少することが見込まれる状況になってきました。このような状況を踏まえ、従来通りの同窓会運営は難しくなるのではないかとこの問題認識を持ち、今後の同窓会運営について検討する「財政問題等検討委員会」を2013年度8月に立ち上げ、検討を始めました。

メンバーは一柳総務担当副会長を座長とし、その他企画広報部、事業部、事務局の各担当副会長3名、運営委員会から各部代表4名、監査1名の計9名です。

8月から12月まで4回の会議を開催し、3月の運営委員会に検討状況の中間報告がされました。

検討委員会報告では、まず、同窓会運営の現状を見直し、以下の検討課題を抽出し、引き続き改善等の具体策を検討していくこととしています。

○組織の強化について

一部の人に負担が偏りがちな運営委員会、各部の事業内容等を見直

すとともに、予算編成に反映する。併せて会則、規程等を再整備する必要がある。

○財政力向上について

年会費増収策や経費節減、収益事業実施の可否等について検討する。

○特別会計について

同窓会会館建設を目指し積み立ててきた資金だが、現状で建設は難しい。しかし、会費収入が減るに伴い取り崩して一般会計化してしまうべきものではない。今後、特別会計で対応すべき事態の想定や活用基準の検討が必要である

○大菩薩ヒュッテの維持管理について

同窓会とPTAが毎年資金を拠出して、山岳部OB会が維持管理に当たっているが、その将来を見据えるといくつかの課題がある。これへの対応を検討する。

運営委員会では報告を受け、各委員が意見交換もしたうえで、新年度も引き続き、具体策の検討を求めることになりました。

吉田 夏先生の百歳をお祝い

17回生D組

昭和21年から42年まで武蔵高校に勤務され、体操競技の国際審判員として活躍し、39年の東京オリンピックでは日本女子体操競技の監督兼コーチを務められた吉田夏先生が昨年6月に百歳を迎えられました。体操部OB・OG会「夏の会」は一昨年、先生の「白寿のお祝い」を企画しました。

集まった卒業生と在学当時を思い出しながら懇談や合唱を楽しみました。「花」の三部合唱では、先生の済んだソプラノが響きわたり、皆学生時代にタイムスリップしました。

先生はいつも私たちに「生かされている喜びを感じながら、今を大切に生きなさい」とのメッセージをくださいます。

先日、有志で「百歳のお祝い」に伺いました。

2020年の東京オリンピックも、また先生とご一緒できたらと思っています。



山岳部OB会「やまね会」

山岳部OB会会長 21G

山岳部は都立武蔵高等学校が男女共学になった昭和25年に創部されました。64年間の歩みの中で約380人の部員がOB・OGとして巣立っています。

現在、OB会の役割としては学校や現役部員への協力・支援・交流と会員相互の親睦があります。

具体的には平成3年から任された大菩薩ヒュッテの維持管理のために小屋番を派遣したり、ヒュッテのメンテナンスなどを行っています。

また、現役部員との交流・支援のために春の小屋開き作業と新入部員歓迎山行を一緒に開催したり、秋の小屋閉め作業と秋季山行を一緒に開催したりしています。さらに登山技術講習会や現役山行へのOB派遣なども行っています。

会員相互の親睦としては2年ごとの総会、新年会、有志による山行、会報誌の発行、会員名簿の発行、ホームページ(現在はヒュッテ予約状況のみ掲載)の開設、メーリングリストの作成などを行っています。



お鷹の道散策 ～11回生ミニ同期会～

C組

昭和34年3月卒業の11回生は一年おきに同期会を開いていますが、そのほかにも年に数回、有志が声を掛け合ってミニ同期会を開いています。

最近では、都立薬用植物園で「青いケシ」を鑑賞したり、埼玉県立航空記念公園での桜の花見などを行い、毎回10数人が参加しています。

2013年4月には、国分寺から「ハケのお鷹の道」に行ってきました。

国分寺駅南口からしばらく歩くとお鷹の道に入ります。ここは住宅の裏手を流れる水路に沿った散歩道で、自転車も通らずのんびりと歩くことができ、真姿の池や国分寺崖線下の湧水群では、清らかな水の流れに心も洗われ、武蔵国分寺跡では参加者一同ボーっとはるか昔に思いをはせていました。

国分寺駅に戻った後は遅い昼食も兼ねてカラオケ店にもぐりこみ、歌いたい人は思い切り熱唱し、話したい人はおしゃべりに興じるなど、それぞれにたっぷり楽しんでいたようです。



お元氣ですか 教員・会員の消息

卒業40周年同期会

25回生ホームカミングデー報告

今回は聖地、吉祥寺での開催ということもあり、吉祥寺東急インで行われた第一部の総会、第二部の「ホームカミングデー」には90名、第三部の「25回生同期会」には130名が集まり懐かしく楽しい時間をすごすことが出来ました。卒業から早や40年、会ってもすぐに誰とはわからなくなっていました、話をするうちに昔の顔(10代の頃の)に見えてくるのが不思議です。在校時、毎春に撮影したクラスの集合写真を用意した効果も絶大でしたね！クラス毎に第四部、そして久しぶりの仲



↑ クラスごとの記念撮影 勝俣(柳澤)先生とG組
← 何次会だか？ いつまでも飲んでる人々



間との第五部へと盛り上がっていききました。

急ごしらえの幹事会ではありましたが集まった皆さんの盛り上がりで大満足、味をしめて2020年の第二回同期会を画策しています。とりあえず今年の総会当日も集まりましょう。

卒業40周年同期会：代表幹事

25回B組)

26回生(昭和49年卒業)

ホームカミングデー・同期会のお誘い

卒業して早や40年、とうとう私たち26期にもホームカミングデーがやってきます。26期では過去2回、2006年と2010年に合同クラス会を開催し、それぞれ140名、120名の参加者を得て、楽しい時間を過ごしながら旧交を深めてきました。

今回のホームカミングデーは本校同窓会行事の一環であり26期では3月から各クラスから世話人が集まり、準備を進めてきました。準備会からすでに同期会が始まっているようで、会議のあとは飲み会で在校時一度も話したことが

ない同期生と、一瞬にして旧知の友となり交流を深めています。

同窓会は名札をつけないと誰かわからないような昔の仲間と楽しく飲み語り合える、なかなか得がたい空間です。皆で集まれば楽しい思い出となることとおもいますので、皆さま是非ご参加ください。また、26期同期会のHPもぜひご覧ください。

26期HP www.17.plala.or.jp/musashi26/

世話人代表 26回C組

昨日・今日— 近頃の私 …

13回生G組

地域女性史の編さん活動に関わって

昨2013年9月、私もメンバーの1人になっている西東京市女性史研究会(通称西女研—さいじょけん)で西東京市の女性の聞き書き集・年表「女の絆と底力」を出版した。2012年12月には西女研の前身である西東京市の女性史を編さんする会で「いのちと知恵をつなぎ暮らしから社会を変えた女たち」を刊行しており、今回はその第2弾である。編さんする会は12人のメンバーだったが、今回西女研はメンバー5人でまとめ上げた。

地域女性史とは、学校で習う歴史や自治体史などに取り上げられることは殆どない、それぞれの地域で、日々の暮らしの中で様々な問題や課題を解決しながら生きてきた女性の人生にスポットを当て、彼女たちがまちの歴史に深くかかわってきたことの記録である。聞き書きという形で纏められることが少なくない。

「ここで、ずっと農業をされていて、観光農園にまでされた、その間いろんなことがあったと思うのですが、是非、お話をうかがわせてください」たとえば、農家の娘に生まれ80年余り、今も農業をしている女性には、こんな風にお話をするとところから、聞き書きを始める。「なーんも人に話すような大したことしてきただけじゃないだよ」私も子どものころに聞いた覚えがある多摩言葉で控えめに語り始めるが、「戦争前は、家業の農業を手伝いながら養蚕もしていた。日照り続きで雨乞いをした。戦争中はB29の空爆に逃げ惑い幼い弟妹を連れて疎開をした。終戦後、農地改革があったので、分家してもらって結婚、農業を続け、やがて、自ら他県の果樹農園を見に行き、夫と一緒に観光果樹農園にした。農協の役員をしたり、70歳過ぎて、ヘルパーの資格をとり、ボランティアもした」など彼女の悲喜こもごもの人生の殆どが語られる。この地域の農業の

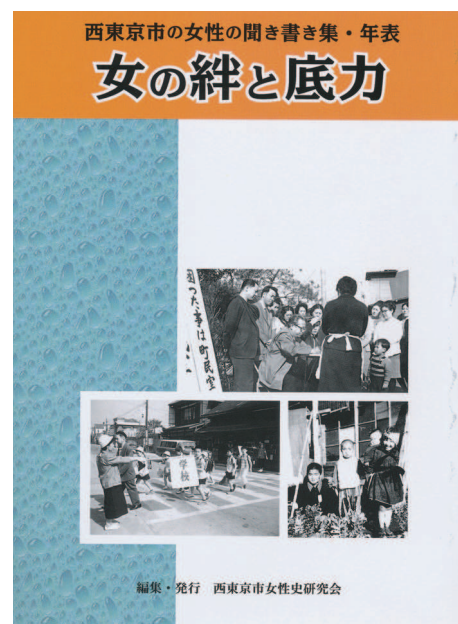
歴史でもある。

他に家業を切り盛りした商家の主婦、町会議員、共同保育所作り、高校増設運動、反核・平和運動、福祉や消費者問題、環境問題・ゴミ減量などに取り組んだ人、教師や保母さん、女性社員が何千人といの中で定年まで勤めた同期3人のうちの1人など、話を聞いた人は30人以上、それぞれの話を、時系列に整理したり、特にその人らしいこと、地域の歴史として興味深いことなどを、できるだけ話者(話し手)の話し言葉のまま記述するのが聞き書きである。他のメンバーと一緒に議論して推敲を重ね、あいまいなところや聴きたりないことがあると、またご本人に聞きに行くということを繰り返し、今まで知らなかった人と信頼関係ができ親しくなっていく過程を経て、最終的にはご本人の了解を得て、出版原稿となる。

どの話者も共通して語るのは太平洋戦争中の体験である。この地域には中島飛行機関係の軍需工場が多数あったとことで空襲もひどかったようで、印象に残っている。

私は小学校入学の年から、平成の大合併で田無市と合併して西東京市になった旧保谷市に住んでいる。畑だらけの農村だったところに移住してきて、親たちが様々な活動をして、まちを変貌させてきたのを見てきたが、自分自身は武蔵卒業後定年まで、市外に勤めていたので、今回話を聞いた女性たちのような活動はしてこなかった。この編さん活動に関わって改めて、住んでいる地域の歴史を見つめ直すことになった。

最初の出版は市との協働事業で、助成金を得られたが、今回は全くの自費出版、1200円で有償頒布することになった。趣旨を理解してくれる人にカンパをお願いしたりもしたが、武蔵の先輩をはじめ、多くの友人・知人に協力してもらった。出来上がった本を読んでもらったが、一様に、西東京のことだが、どこの地域にも、女性にも、共通することが沢山あり、興味深かったという感想がもらえ嬉しかった。これからもゆるゆると活動していくつもりだ。



武蔵の山小屋……大菩薩ヒュッテ



2013年も個人・クラス会・クラブ活動などでご利用をいただきました



29回生G組クラス会



春の小屋開け作業に参加した山岳部部員・顧問



初秋の大菩薩ヒュッテ南面

名称：東京都立武蔵高等学校・付属中学校 大菩薩ヒュッテ

所在地：山梨県甲州市大菩薩峠近く 標高約 1,700 m地点

ご利用について

利用期間：5月連休～11月第1週 原則 土・日 又は 日帰り

利用時間：土曜日 15:00～ 日曜日 12:00 まで

利用料金： 一人 ¥1,000 (主にマキ、プロパンなどの燃料代)

申込・問い合わせは 山岳部同窓会事務局まで



☆メールでの申込・問い合わせは件名に「ヒュッテ」と書いてください。

ヒュッテの運営費・経費は同窓会・PTA・利用料・カンパ・山岳部同窓会により賄われています。

卒業生進路一覽 (平成26年4月8日現在)

(平成26年3月 卒業生数 193名)

国公立大学

	現役		浪人		合計
	男子	女子	男子	女子	
東京大学	1	1		1	3
一橋大学	5	1	1		7
東京工業大学	2		1		3
京都大学	1				1
東京学芸大学	2	1			3
電気通信大学	1	1			2
東京外国語大学		3			3
東京農工大学	2	3			5
横浜国立大学	2	3	2		7
千葉大学	2	1	2		5
埼玉大学		2		1	3
筑波大学	2	2			4
北海道大学	1	1	2		4
東北大学		1			1
九州大学	1				1
首都大学東京	1	2	1		4
福島県立医科大学		1			1

私立大学

	現役		浪人		合計
	男子	女子	男子	女子	
早稲田大学	20	8	10	1	39
慶應義塾大学	15	6	3	2	26
上智大学	5	4	4	1	14
明治大学	14	10	16	3	43
青山学院大学	7	6	5	4	22
立教大学	16	11	8	3	38
中央大学	13	6	9	1	29
法政大学	11	17	7	3	38
学習院大学	1	4	1	3	9
東京理科大学	12	4	13		29
日本大学	6	5	3		14
東洋大学	4	3	1		8
駒澤大学	4	3	3	2	12
専修大学	2				2

表紙によせて 五十の手習い 12G 舘内 純子(旧姓 飯田)

若いころに基礎を学んだのでもないのに、末息子の大学進学をしておに絵を描こうと決めたのは「大人になったら絵かきさんになりたい」と、夢みたのを忘れずにいたからでしょう。楽しみを友にキャンパスに向かったのですが、時を経ず苦しみもがく日々となり、恥をかく日々へと続けました。

この度、同窓会誌の表紙絵をとお声をかけて頂きました。人物画を始めて四年目の作ですが、私のもう一つの楽しみ読書と共に生涯の楽しみになると自覚したころのものです。

老いを感じる昨今、一生の楽しみに廻り合えた喜びを感じています。



舘内 純子さん

略歴

- ・1991年 人物の油絵を描き始める
 - ・1995年 蒼騎会展出展、初入選 以降、連続入選
 - ・1998年 ぎやらりー ロア(八王子)で1回目の個展
 - ・2001年 八王子のクリエイイトホールにて2回目の個展
 - ・2003年 蒼騎会会友に推挙される
 - ・2005年 蒼騎会会員に推挙される
 - ・同年 八王子駅ビル「ナウサロン」で3回目の個展
 - ・2006年 ぎやらりーロアで4回目の個展
 - ・2008年 ぎやらりーロアで5回目の個展
 - ・2009年 三多摩美術家連盟展に出品。会員に推挙される。
 - ・同年 ギャラリー芙蓉(八王子)で6回目の個展
 - ・2012年 たましんギャラリー (立川)で7回目の個展
 - ・2013年 ぎやらりーロアで8回目の個展
- その他、企画展、グループ展に出品

平成26年度 武蔵高等学校・附属中学校 異動者名簿

卒業生総数 24,898名 住所不明者・物故者 7,961名